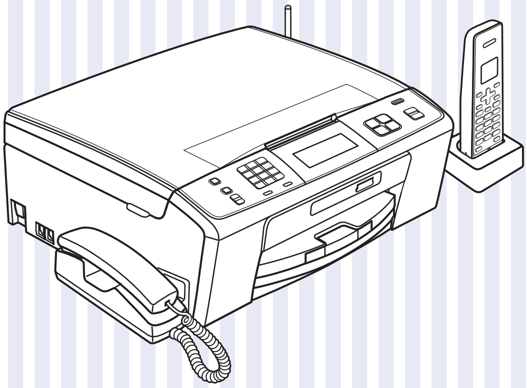
brother

MYMIO

MFC-J700D/DW
ユーザーズガイド
－応用編－



第1章
お好みで設定する

第2章
電話

第3章
ファクス

第4章
電話帳

第5章
留守番機能

第6章
コピー

第7章
フォトメディア
キャプチャ

付録（索引）

困ったときは　本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 **ユーザーズガイド 基本編 第8章「こんなときは」で調べる**

2 サポート ブラザー　検索　**ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる**
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。
ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version B JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	付属 ユーザーズマニュアル CD-ROM の見かた ⇒ユーザーズガイド 基本編「ユーザーズガイド CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは」
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	

■ 便利にお使いください

画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 5 のユーザーズガイドを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	サポートサイト ダウンロード

サポートサイト
ダウンロード

上記はすべて、最新版がサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からもダウンロードできます。http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、ユーザーズガイド 基本編 第 8 章「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

Memo

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J700D のイラストを使用しています。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J700D、MFC-J700DW を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

第 1 章

お好みで設定する

お好みで設定してください

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

着信音と保留音を設定する

お好みで設定してください

電話やファクスを受信したときの着信音と保留音を設定します。本製品には、あらかじめ 4 種類のベル音と 30 曲のメロディが登録されています。お買い上げ時は、着信音は「ベル 1」、保留音は「花のワルツ」に設定されています。

注意

- ■ 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）
- ■ 呼出回数を 0 回に設定していると、メロディに設定していても、回線が再呼出に切り替わりベル音が鳴るため、メロディが聞こえません。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「呼出回数を設定する」

親機の着信音・保留音を選ぶ

4 種類のベル音と下記のメロディを着信音や保留音として設定できます。

曲名		曲名	
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【メロディ設定】を押す

4 【着信音】または【保留メロディ】を選ぶ

5 メロディを選び、OK を押す

現在選択されているメロディが流れます。目的のメロディが表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

ベル音は保留メロディには設定できません。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

構内交換機、ターミナルアダプター、ADSL モデムなどに接続している場合、それらの機器の着信音選択を【ベル 2】または【SIR】に設定しているときは、本製品で【ベル 1】に設定しても、メニュー選択時に聞こえる【ベル 1】の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

再呼出音をメロディにすることはできません。

相手先ごとに着信音を変える

ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは相手先ごとに着信音を設定することができます。
⇒ 20 ページ「着信鳴り分けを設定する」

子機の着信音を選ぶ

1 種類のベル音と下記のメロディを着信音として設定できます。

	曲名
1	アヴェ・マリア
2	オオキナフルドケイ
3	ガボット
4	キラキラボシ
5	シキヨリ［ハル］
6	ハナノワルツ

1 機能確定 を押す

2 【メイドウオンセッテイ】が選択されていることを確認し、機能確定 を押す

3 【1. チャクシンオン】が選択されていることを確認し、機能確定 を押す

現在選択されているメロディが流れます。

4 ✚ で着信音を選び、機能確定 を押す

5 切 を押す

設定を終了します。

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

親機の画面設定を変更する

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【画面の設定】を押す

画面の設定画面が表示されます。

4 変更したい項目を選ぶ



- 【画面の明るさ】
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

5 目的の設定を選ぶ

- 画面の明るさ
  【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】

6 を押す

設定を終了します。

子機の画面設定を変更する

1 を押す

2 で【ガメンノコントラスト】を選び、を押す

3 で好みのコントラストを選び、を押す

4 切 を押す

設定を終了します。

ファクスモードに戻る時間を設定する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 【モードタイマー】を押す

モードタイマー設定画面が表示されます。

4 ファクスモードに戻る時間を選ぶ

時間は【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

設定が有効になります。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

おやすみモードに入る時間を設定する

設定した時刻に留守モードに切替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定ができます。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【おやすみタイマー設定】を押す

おやすみタイマーの設定画面が表示されます。

4 【おやすみタイマー】を押す

5 【オン】を押す

おやすみタイマーが有効になります。

6 【開始時刻】を押す

7 おやすみタイマーの開始時刻を、画面に表示されているテンキーで入力し、OKを押す

8 【終了時刻】を押す

9 おやすみタイマーの終了時刻を、画面に表示されているテンキーで入力し、OKを押す

10 停止/終了を押す

設定を終了します。

すぐにおやすみモードを開始/終了する

1 待ち受け画面で【おやすみ】を押す

おやすみタイマーでおやすみモード中の場合、おやすみモードが解除されます。

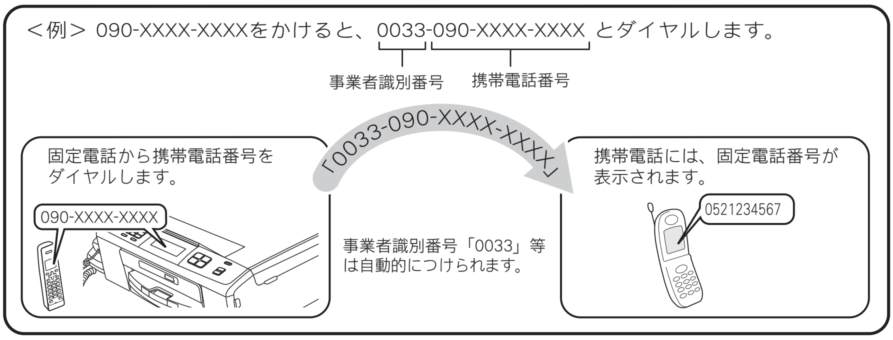
おやすみモード解除中の場合、【おやすみモードに設定しますか?着信音は鳴らずに留守電になります】と表示されます。【はい】を押すとおやすみモードが開始されます。

- おやすみモード中に【おやすみ】を押しておやすみモードを解除すると、次のおやすみタイマー開始時までおやすみモードは解除されます。
- おやすみモード解除中に【おやすみ】を押しておやすみモードを開始させると、次のおやすみタイマー解除時までおやすみモードになります。

ケータイ通話お得サービスを利用する

ケータイ通話お得サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号をダイヤルすると、固定電話の電話会社が設定した料金でご利用できるサービスです。
ケータイ通話お得サービスを利用する設定にすると、本製品から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号を自動的につけてダイヤルすることができます。
ただし、ひかり電話や直収電話サービスをご利用になっている場合は、この機能はご利用になれません。



注意

- ■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス *1、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【しない】に設定してください。
- ■ ケータイ通話お得サービスは、登録した各事業者によりサービス提供エリアが異なります。サービス提供エリアについては、各事業者にお問い合わせください。
- ■ ケータイ通話お得サービスを利用するときは、携帯電話番号の前に事業者識別番号や IP 電話解除番号 *2 をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料が異なる場合があります。
- ■ 直収電話サービスについては、各サービス事業者へお問い合わせください。
- ■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンに接続している場合は、ケータイ通話お得サービスを利用できません。【しない】に設定してください。
- ■ 電話をかけても、しばらく「ツー」という音だけが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- ■ 事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合、電話がつながるまで時間がかかることがありますが故障ではありません。
- ■ 国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯電話番号は、「090」「080」から始まる番号のみです。PHS への通話は利用できません。
- ■ マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なく利用できます。
- ■ 通話先、通話時間や発信事業者の料金体系により、料金は安くならない場合があります。サービスについては、各事業者へお問い合わせください。

*1 直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。(例 ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど)

*2 IP 電話サービスを利用時、一時的に IP 電話を利用しないための番号です。

NTT コミュニケーションズの 0033 モバイルサービスのご案内

- お申し込み手続きは不要です。定額料もかかりません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、フリーアクセス（「0800」で始まる番号）など一部サービスを利用できない場合があります。
- 携帯電話への通話料金はNTTコミュニケーションズご利用分として請求されます。
- NTT コミュニケーションズが提供する「固定電話から携帯電話への通話サービス (0033 モバイル)」詳細については、NTT コミュニケーションズのカスタマーズフロントにお問い合わせください。

NTT コミュニケーションズ
カスタマーズフロント
0120-506506
受付時間：午前 9:00 ～午後 9:00（年末年始除く）
※本製品の機能・設定については、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。

注意

■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス [*1]、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【しない】に設定してください。

[*1] 直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例：ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど）

ケータイ通話お得サービスを設定する

［ケータイ通話お得サービス］

ひかり電話や直収電話サービスをご利用になっている場合は、ケータイ通話お得サービスはご利用になれません。IP 電話をご利用の場合は、ケータイ通話お得サービスのご利用は可能です。この場合は、IP 電話解除番号の設定が必要です。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ケータイ通話お得サービス】を押す

ケータイ通話お得サービスの設定画面が表示されます。

5 【する】を押す

ケータイ通話お得サービスを利用しない場合は、【しない】を選びます。

6 電話回線を選ぶ

- 【一般回線】：一般回線をお使いの場合に選びます。
  ⇒手順 11 へ
- 【IP 電話】:IP 電話をお使いの場合に選びます。
  ⇒手順 7 へ
- 【ひかり電話 / その他】：ケータイ通話お得サービスの設定を取りやめます。
  ⇒手順 11 へ

7 メッセージを確認して、【OK】を押す

8 「IP 電話解除番号は分かりますか？」と表示された画面で、【はい】を押す

9 IP 電話解除番号を入力して、OK を押す

画面に表示されているテンキーで番号を入力します。
また、各 IP 電話事業者の具体的な解除番号については、下表を参照してください。

IP 電話解除番号とは、携帯電話に発信するときなどに、IP 電話を使わずに NTT などの一般回線で発信するための番号です。

注意

- **携帯電話への発信ができなくなる場合がありますので、IP 電話解除番号が正しく入力されていることを確認してください。**
- **IP 電話解除番号を空白にしたまま設定するとケータイ通話お得サービスが利用できなくなります。**

10 【はい】を押す

IP 電話解除番号を修正するときは、【いいえ】を押してください。

11 停止/終了 を押す

設定を終了します。
「0033」(NTT コミュニケーションズ)以外の事業者をご利用の場合は、引き続き事業者識別番号を変更してください。

IP 電話をご利用の方がケータイ通話お得サービスを設定すると、携帯電話への発信のみ IP 回線利用ではなくなります。

ケータイ通話お得サービスは、次の場合も利用できます。
- 「184」「186」などの番号を付けたとき
(「184」をつけて非通知で電話をかけると、携帯電話に電話番号は表示されません。)
- 再ダイヤル、発信履歴からかけ直すとき
(事業者識別番号は画面に表示されません)
- 電話帳からかけるとき
- 着信履歴からかけ直すとき(ナンバーディスプレイ利用時のみ)

IP 電話解除番号の例(2010 年 5 月 1 日現在)

事業者名	サービス名	IP 電話解除番号 *2
Yahoo! BB(ソフトバンク BB) *1	Yahoo! BB フォン	0000p 最後に必ず「p」(ポーズ)を入力してください。
OCN(NTT コミュニケーションズ) *1	OCN ドットフォン	0000
KDDI(DION) *1 NTT 東日本・西日本の IP 電話対応機器をご利用の場合	KDDI ー IP 電話	0000
KDDI(DION) *1 NTT 東日本・西日本以外の IP 電話対応機器をご利用の場合	KDDI ー IP 電話	0009

*1 Yahoo! BB 光、OCN 光サービス、KDDI メタルプラスは、ケータイ通話お得サービスをご利用になれません。
*2 IP 電話解除番号は予告なく変更されることがあります。正しく設定してもサービスが利用できない場合は、ご契約中の IP 電話事業者にお問い合わせください。

上記にないIP電話サービスをご利用の場合は、ご契約中のIP電話事業者に、IP電話解除番号と「p」(ポーズ)入力が必要かどうかをお問い合わせください。

事業者識別番号を変更する

［事業者識別番号］

「0033」（NTT コミュニケーションズ）以外のケータイ通話お得サービスをご利用のときは、事業者識別番号を変更します。
お買い上げ時は、「0033」に設定されています。

1. **【メニュー】を押す**

2. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

3. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す**

4. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【事業者識別番号】を押す**

   事業者識別番号の設定画面が表示されます。

5. **事業者識別番号を入力して、OKを押す**

   画面に表示されているテンキーで番号を入力します。

6. **停止/終了を押す**

   設定を終了します。

一時的にケータイ通話お得サービスを利用せずに発信したいときは

ケータイ通話お得サービスを【する】に設定していても、サービスを利用したくない場合は、【キャッチ】を押してからダイヤルすると、一時的にサービスをキャンセルできます。

第２章

電話

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する オプションサービス

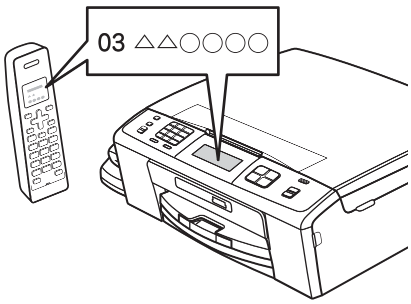
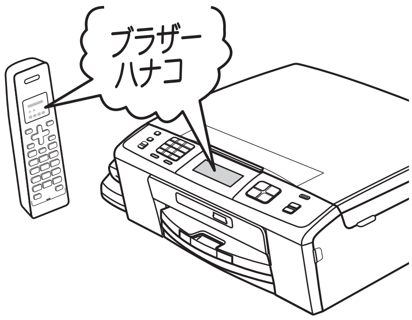
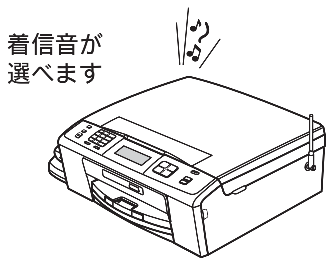
本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

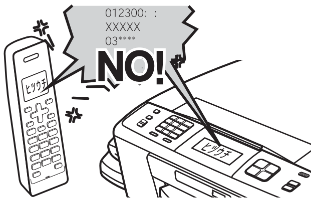
ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

注意

- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】に設定してください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。

電話番号表示機能	名前表示機能	着信音鳴り分け機能（親機のみ）
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。  	親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。 ※電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本製品に登録された名前が表示されます。  	電話番号ごとに着信音を指定できます。 また、迷惑指定にして、特定の番号からかかってきても、着信音を鳴らさないこともできます。 

迷惑電話防止 / 非通知着信拒否 / 公衆電話拒否機能 / 表示圏外拒否機能	着信履歴機能
迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。また、相手の電話番号が非通知、または公衆電話、表示圏外の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。 ※ISDN 回線でご利用のターミナルアダプターによっては、着信を拒否できない場合があります。  	電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信履歴は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。 • 画面に表示する • 「着信履歴」として印刷する（親機のみ） • 親機または子機の電話帳に登録する • 記録した電話番号に電話をかける 

ナンバー・ディスプレイサービスを設定する

[ナンバーディスプレイ]

電話会社とのご契約後、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは【あり】に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは【なし】に設定します。

【あり】に設定しているときは、「着信鳴り分け」「非通知着信拒否」「公衆電話拒否」「表示圏外拒否」「着信拒否モニター」「キャッチディスプレイ」などが設定できます。また、「着信履歴」を表示したり、「着信履歴リスト」を印刷することができます。お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ【あり】に設定されています。

注意

- ■「ナンバー・ディスプレイ」をご利用いただくためには、電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約していない場合は【なし】にしてください。
- ■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイ」の設定を【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ナンバーディスプレイ】を押す

4 【ナンバーディスプレイ】を押す

5 【あり】または【なし】を選ぶ

設定は【あり】または【なし】から選びます。

- 【あり】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できます。（別途、電話会社との契約が必要です）。
- 【なし】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。

6 停止/終了を押す

設定を終了します。

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。

親機



子機



● その他の表示例

- 【非通知】
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【公衆電話】
  公衆電話からかけてきたとき
- 【表示圏外】
  相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

- 【なし】に設定しているときは、【着信鳴り分け】【非通知着信拒否】【公衆電話拒否】【表示圏外拒否】【着信拒否モニター】【キャッチディスプレイ】などのメニューを選ぶことはできません。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、着信回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示できないことがあります。
- 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本製品に登録された名前が表示されます。
- 「ネーム・ディスプレイ」の契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することができます。

着信鳴り分けを設定する

[着信鳴り分け]

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、かけてきた相手によって着信音を変えたり、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したりすることができます。

電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ナンバーディスプレイ】を押す

4 【ナンバーディスプレイ】を押す

5 【あり】を押す

6 【着信鳴り分け】を押す

7 着信音を鳴り分けさせたい電話番号を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

> ＊01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
> ＊01 あ のときは五十音順に、
> ＊01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

8 着信鳴り分け設定を選ぶ

設定は【ファクス／迷惑指定／電話】から選びます。

- 【ファクス】
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【迷惑指定】
  着信音が鳴りません。
  ⇒ 21 ページ「迷惑電話を防止する」
- 【電話】
  設定した着信音で親機が鳴ります。

【電話】を選んだ場合⇒手順 9 へ

【ファクス】【迷惑指定】を選んだ場合⇒手順 10 へ

9 着信音を選び、OK を押す

⇒ 6 ページ「親機の着信音・保留音を選ぶ」

目的のメロディが表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

10 停止/終了 を押す

設定を終了します。

電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 機能確定 を押し、十字キー「メイドウオンセッテイ」機能確定「2. チャクシン ナリワケ」を選び、機能確定 を押す

着信音を選ぶ画面が表示されます。

2 十字キー で着信音を選び、機能確定 を押す

⇒ 7 ページ「子機の着信音を選ぶ」

3 切 を押す

> 子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
>
> 子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

ナンバー・ディスプレイの利用方法（親機のみ）

迷惑電話を防止する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（20 ページ）の手順 6 までを行う
(2) 着信音を鳴らしたくない電話番号を選ぶ
(3) 【迷惑指定】を選ぶ
(4) 停止/終了 を押す

迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（20 ページ）の手順 5 までを行う
(2) 【非通知着信拒否】または ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を選ぶ
(3) 【する】を押す
(4) 停止/終了 を押す

番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。
⇒ 21 ページ「着信拒否モニターを設定する」

ファクスは受信しません。

着信拒否モニターを設定する

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否のときの着信拒否メッセージを本製品のスピーカーから聞くことができます。

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（20 ページ）の手順 5 までを行う
(2) ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【着信拒否モニター】を押す
(3) 【する】を押す
(4) 停止/終了 を押す

スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

着信履歴を利用する

[着信履歴]

注意

■ ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。親機には、着信日時のみ表示されます。子機には、「チャクシンリレキ　ナシ」と表示されます。

着信履歴を見る

親機の場合

(1) 待ち受け画面の［ ］を押す

(2) 【着信履歴】を押す

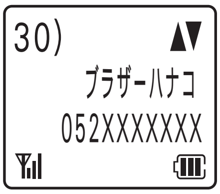
◆最新の着信履歴が表示されます。



子機の場合

(1) キャッチ 着信履歴 を押す

◆着信履歴が表示されます。



着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「最近かかってきた相手にかける （着信履歴）」
⇒ 48 ページ「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」

着信履歴を印刷する（親機のみ）

(1) 記録紙をセットする

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【レポート印刷】を押す

(4) ［▼］/［▲］を押して画面をスクロールさせ、【着信履歴リスト】を押す

(5) モノクロ スタート を押す

◆着信履歴が印刷されます。

(6) 停止/終了 を押す

着信履歴を削除する（親機）

(1) 待ち受け画面の［ ］を押す

(2) 【着信履歴】を押す

◆最新の着信履歴が表示されます。

(3) 削除したい着信履歴を選ぶ

(4) 【メニュー】を押す

(5) 【消去】を押す

◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(6) 【はい】を押す

◆指定した着信履歴を削除し、一つ前の（より古い）着信履歴が繰り上がって表示されます。

(7) 停止/終了 を押す

※親機で削除した履歴は子機には反映されません。

履歴を削除する（子機）

1 件のみ削除する場合

(1) 機能/確定 を押し、十字キーで「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能/確定 を押す

(2) 十字キーで削除したい履歴を選び、機能/確定 を押す

(3) 十字キーで「1 ケン　ショウキョ」を選び、機能/確定 を押す

(4) 1ア を押す

◆選択した履歴が削除されます。

(5) 切 を押す

◆操作を終了します。

すべての履歴を削除する場合

(1) 機能/確定 を押し、十字キーで「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能/確定 を押す

(2) 機能/確定 を押す

(3) 十字キーで「ゼンケン　ショウキョ」を選び、機能/確定 を押す

(4) 1ア を押す

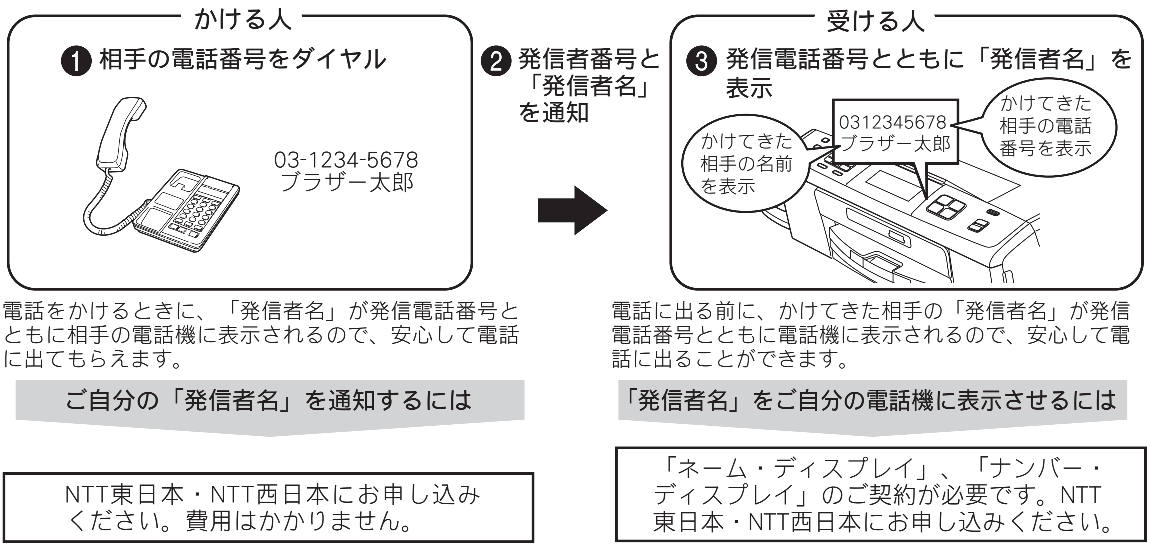
◆子機の着信履歴または発信履歴がすべて削除されます。

※子機で削除した履歴は親機には反映されません。

ネーム・ディスプレイサービスを利用する

ネーム・ディスプレイはNTTが行っているサービスです。本製品の電話帳に登録していなくても、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号が画面に表示されます。サービスの詳細についてはNTT（116：無料）にお問い合わせください。
ネーム・ディスプレイサービスを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。⇒18ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

- 子機は対応していません。
- ひかり電話では、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。
- お客様がご利用されている電話会社がNTT東日本、NTT西日本以外の場合は、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。付加サービスの詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- IP電話（050番号）への着信には「発信者名」を表示させることはできません。



● 提供地域	● 発信者名を表示する通話	● 表示される文字
全国（NTT東日本、NTT西日本のサービス提供地域） ※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。	NTT東日本およびNTT西日本の加入電話回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。	10文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

● 料金

月額使用料：住宅用、事務用とも105円（INSネット1500については1,050円）
別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2009年5月1日現在）
- 月額使用料
  加入電話、ライトプラン：420円（住宅用）、1,260円（事務用）
  INSネット64、INSネット64ライト：630円（住宅用）、1,890円（事務用）
  INSネット1500：18,900円
- 工事料：2,100円

お申し込み・お問い合わせは

局番なしの「116：無料」
受付時間　9:00 ～ 21:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。
サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、【なし】に設定されています。

注意

- 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」(⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「キャッチホンサービスを利用する」)と、「ナンバー・ディスプレイサービス」(⇒ 16 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」)の両方を、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。(有料)
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- 構内交換機(PBX)に接続しているときは、キャッチディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続(並列接続)をすると、キャッチディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。
- 子機のキャッチディスプレイの表示は、約 10 秒です。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ナンバーディスプレイ】を押す

4 【ナンバーディスプレイ】を押す

5 【あり】を押す

6 ⮌を押す

7 【キャッチディスプレイ】を押す

8 【あり】または【なし】を選ぶ

- 【あり】:
  キャッチホン・ディスプレイが設定されます。
- 【なし】:
  キャッチホン・ディスプレイは設定されません。

9 停止/終了を押す

設定を終了します。

電話

Memo

第３章

ファクス

応用

通信管理

ファクスの便利な送りかた

応用

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

注意

■「ナンバーディスプレイ」をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 16 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 待ち受け画面の［ ］、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

4 ファクスを送る相手先を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は モノクロ スタート を、カラーで送る場合は スタート カラー を押す

ファクスが送られます。

発信履歴や着信履歴を削除する

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 2、3 の操作を行う

(2) 削除する相手先を選ぶ

(3) 【メニュー】を押す

(4) 【消去】を押す
◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す
◆選んだ番号が消去されます。

(6) 停止/終了 を押す

※親機で削除した履歴は子機には反映されません。

相手先の受信音を確認してから送る

［手動送信］

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

注意

■「手動送信」の場合、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 オンフック を押したあと、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手の受信音（ピー音）を確認して、モノクロスタート または スタートカラー を押す

画面に【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す
◆【停止しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す
◆ファクスの送信が中止されます。

話をしてから送る

［手動送信］

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

注意

■「手動送信」の場合、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 相手先に電話をかける

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 2 章「電話をかける」

2 相手と通話してファクスを送ることを伝え、相手側のファクシミリのスタートボタンを押してもらう

相手先のファクスが応答すると「ピー」という音が聞こえます。

3 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

4 [モノクロスタート] または [スタートカラー] を押す

画面に【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

6 受話器を受話器台に戻す

送るのをやめるときは

(1) [停止/終了] を押す

◆【停止しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスの送信が中止されます。

内容を確認してからファクスを送る

［みてから送信］

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。

注意

■ みてから送信を行うときは、「リアルタイム送信」と「ポーリング受信」を【しない】に設定してください。
⇒ 34 ページ「原稿をすぐに送る」
⇒ 38 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受ける」

■ みてから送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ［ファクス］を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

4 ［◀］/［▶］を押して画面をスクロールさせ、【みてから送信】を押す

5 【する】を押す

6 ［モノクロ スタート］を押す

読み込みが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
2 枚目の原稿がある場合⇒手順 7 へ
これで送信する場合⇒手順 8 へ

7 【はい】を押し、2 枚目の原稿をセットして、［モノクロ スタート］を押す

3 枚以上原稿がある場合は、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

9 画面で、ファクスの内容を確認する

【メニュー】を押すと、以下のボタンが表示されます。

ボタン	操作内容
［▲］/［▼］	縦方向にスクロールします。
［◀］/［▶］	横方向にスクロールします。
［拡大］/［縮小］	拡大 / 縮小表示します。
［前ページ］/［次ページ］	前のページ/次のページを表示します。
［回転］	90°ずつ右回転します。

A）ファクスを送る場合

10 ［モノクロ スタート］を押す

ファクスが送られます。

B）ファクス送信を中止する場合

10 ［停止/終了］を押す

画面に【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

11 【はい】を押す

送信が中止されます。

時間を指定して送る

［タイマー送信］

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

注意

- タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【タイマー送信】を押す

4 【する】を押す

送信時刻を入力する画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、OK を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

例）午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「画質や濃度を変更する」

6 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、次の原稿をセットして モノクロスタート を押す

送りたい原稿について、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または モノクロスタート を押す

操作を終了します。
読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

- 相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。
- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

同じ相手への原稿をまとめて送る

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

注意

- とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

1 ファクス を押す

2 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【とりまとめ送信】を押す

3 【する】を押す

設定は、【する／しない】から選びます。

4 停止/終了 を押す

設定を終了します。

原稿をすぐに送る

[リアルタイム送信]

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「変更した設定を保持する」

注意

- リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【リアルタイム送信】を押す

4 設定を選ぶ

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
  リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
  通常の送信で送ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。

5 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロ スタート を、カラーで送るときは カラー スタート を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

相手の操作で原稿を送る

［ポーリング送信］

本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクシミリはその原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

機密ポーリング送信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

注意

- 相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【ポーリング送信】を押す

4 【標準】または【機密】を選ぶ

5 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「画質や濃度を変更する」

6 モノクロスタート を押す

画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、次の原稿をセットして モノクロスタート を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または モノクロスタート を押す

原稿を読み取り、メモリーに蓄積します。

ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

ポーリング送信を解除したいときは、【メニュー】から【ファクス / 電話】【通信待ち一覧】を選んで解除します。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

海外へ送る

［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【海外送信モード】を押す

4 【する】を押す

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「画質や濃度を変更する」

5 相手先のファクス番号をダイヤルする

6 モノクロスタート または カラースタート を押す

モノクロスタート を押した場合：画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

カラースタート を押した場合：画面に【カラーファクスを1枚のみ送信します　複数枚送信のときは［いいえ］を選びモノクロスタートを押してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。
カラーで送る場合⇒手順 8 へ
モノクロで送る場合⇒【いいえ】を押して手順 6 に戻ります。

7 【はい】を押し、次の原稿をセットして モノクロスタート または カラースタート を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 モノクロで送るときは【いいえ】を、カラーで送るときは【はい（カラー送信）】を押す

ファクスが送られます。

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

［自動縮小］

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【自動縮小】を押す

5 【する】を押す

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

6 停止/終了を押す

設定を終了します。

> 自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。

本製品の操作で相手の原稿を受ける

［ポーリング受信］

本製品から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。（これを「ポーリング受信」といいます。）
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

機密ポーリング受信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

注意

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。（カラーでの受信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 **ファクス を押す**

2 **◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【ポーリング受信】を押す**

3 **設定を選ぶ**

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

4 **【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、OK を押す**
【タイマー】を選んだ場合、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、OK を押す

時刻は 24 時間制で入力します。
例）午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

5 **相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート を押す**

相手先のファクス番号を電話帳から選ぶこともできます。

ファクスを受信します。

本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。

ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に * を入力してください。

タイマーポーリング受信をキャンセルするには、【メニュー】【ファクス / 電話】【通信待ち一覧】からキャンセルしたい設定を選びます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「送信待ちファクスを確認・解除する」

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。
順次ポーリングでは、1 回の操作で、複数の相手先のファクシミリにセットされた原稿を受けることができます。

1 **[ファクス] を押す**

2 **[◀]/[▶] を押して画面をスクロールさせ、【ポーリング受信】を押す**

3 **設定を選ぶ**

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

4 **【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、[OK] を押す**
【タイマー】を選んだ場合、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、[OK] を押す

時刻は 24 時間制で入力します。
例） 午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

5 **[◀]/[▶] を押して画面をスクロールさせ、【同報送信】を押す**

6 **【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ**

7 **【番号追加】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで、相手先のファクス番号をダイヤルして、[OK] を押す**
【電話帳検索】を選んだ場合は、リストから相手先を選び [OK] を押す

目的の相手先が表示されていない場合は、[▼]/[▲] を押して画面をスクロールさせます。

> グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。⇒ 50 ページ「グループダイヤルを登録する」
>
> [*01 | あ] を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
> [*01 | あ] のときは五十音順に、
> [*01 | あ] のときは短縮番号順に並べ替えられます。

【番号追加】を選んだ場合⇒手順 8 へ
【電話帳検索】を選んだ場合⇒手順 9 へ

8 **手順 7 を繰り返し、2 件目以降の相手先を指定する**

9 **すべての相手先を選び終わったら、[OK] を押す**

10 **[モノクロスタート] を押す**

ファクスを受信します。
すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリングレポート」が印刷されます。

順次ポーリング受信をやめるときは

(1) ダイヤル中に 停止/終了 を押す

◆現在受信中のジョブ（相手先のファクス番号が表示されます。）をキャンセルするか、順次ポーリングをキャンセルするかを選択する画面が表示されます。

※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(2) 目的のボタンを押す

(3) 【はい】を押す

※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

ファクスを転送する

[ファクス転送]

受信したファクスを別のファクシミリに転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

注意

- 「ファクス転送」の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- 「みるだけ受信」と「ファクス転送」を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。「ファクス転送」で「本体でも印刷する」を設定していても印刷されません。
- 「ファクス転送」を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- 「ファクス転送」は、「メモリ保持のみ」、「PC ファクス受信」と同時に設定することはできません。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【ファクス転送】を押す

6 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、OK を押す

すでに転送先のファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号が表示されます。
転送先のファクス番号を変更する場合は ⌫ を押し、入力し直します。

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 8 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 7 へ

7 本製品で印刷するかしないかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

8 停止/終了 を押す

設定を終了します。

- 転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に 5 分おきに 3 回まで再ダイヤルされます。
- ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

注意

- カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- 「PC ファクス受信」は、「ファクス転送」「メモリ保持のみ」と同時に設定することはできません。
- 「PC ファクス受信」は Windows® でのみ使用できます。
- 「みるだけ受信」を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【PC ファクス受信】を押す

6 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 8 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 7 へ

7 本製品で印刷するかしないかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

8 停止/終了 を押す

設定を終了します。

パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」

手順 7 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。

手順 7 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

通信状態を確かめる

通信管理

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

注意

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷するとき

1. **記録紙をセットする**
2. **【メニュー】を押す**
3. **【レポート印刷】を押す**
4. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【通信管理レポート】を押す**
5. **モノクロスタートを押す**

   通信管理レポートが印刷されます。
6. **印刷が終了したら、停止/終了を押す**

定期的に印刷するとき

1. **【メニュー】を押す**
2. **【ファクス / 電話】を押す**
3. **【レポート設定】を押す**
4. **【通信管理レポート】を押す**
5. **印刷間隔を選ぶ**

   印刷間隔は、【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

   目的の印刷間隔が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

A)【7 日ごと】を選んだ場合

(1) **印刷時間を入力し、OK を押す**

(2) **曜日を選ぶ**

◆目的の印刷間隔が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

(3) **停止/終了を押す**

◆通信管理レポートが設定されます。

B)【6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと】を選んだ場合

(1) **印刷時間を入力し、OK を押す**

(2) **停止/終了を押す**

◆通信管理レポートが設定されます。

C)【レポート出力しない /50 件ごと】を選んだ場合

(1) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

> 定期的に通信管理レポートが印刷されると、レポートの内容はメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

注意

■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷するとき

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【レポート印刷】を押す

4 【送信結果レポート】を押す

5 モノクロ スタート を押す

送信レポートが印刷されます。

6 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

印刷するタイミングと内容を設定する

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【レポート設定】を押す

4 【送信結果レポート】を押す

5 設定を選ぶ

設定は【オン／オン+イメージ／オフ／オフ+イメージ】から選びます。

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン+イメージ】：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ+イメージ】：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

リアルタイム送信（⇒ 34 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

カラーファクスで送信できなかった場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

着信履歴リストを印刷する

［着信履歴リスト］

着信履歴を印刷します。

注意

■ 着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【レポート印刷】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【着信履歴リスト】を押す

5 モノクロスタートを押す

着信履歴リストが印刷されます。

6 印刷が終了したら、停止/終了を押す

第４章

電話帳

親機の電話帳を利用する

電話帳

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクシミリの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録することができます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 46 ページ「着信履歴リストを印刷する」

注意

■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
■ 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 待ち受け画面の［ ］、または［ファクス］を押して表示されるファクスモード画面で【履歴】を押す

最新の履歴が表示されます。

履歴は最新の 30 件が記録されています。

2 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、［▼］/［▲］を押して画面をスクロールさせます。

4 【メニュー】を押す

5 【電話帳に登録】を押す

名前の画面が表示されます。

6 画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、［OK］を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入力方法」－「親機」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、［OK］を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま［OK］を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 【番号 1】に選択した番号が入力されていることを確認して、［OK］を押す

変更したい場合は、画面に表示されているテンキーで変更します。

9 画面に表示されているテンキーで【番号 2】に設定する番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

10 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、OK を押す

11 登録内容を確認し、OK を押す

12 停止/終了 を押す

選択した番号が電話帳に登録されます。

グループダイヤルを登録する

[グループ登録]

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録することはできません。

注意

■ グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1 待ち受け画面の［📖］、または［ファクス］を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳 / 短縮】を押す

2 【メニュー】を押す

3 【グループ登録】を押す

グループ名を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、［OK］を押す

名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入力方法」－「親機」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているテンキーでグループ番号を入力し、［OK］を押す

グループ番号を編集する必要がない場合は、そのまま［OK］を押します。

6 グループに登録する相手先を選ぶ

［*01｜あ］を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
［*01｜あ］のときは五十音順に、
［*01｜あ］のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 登録する番号をすべて選んだら、［OK］を押す

8 登録内容を確認し、［OK］を押す

9 ［停止/終了］を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

注意

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 4 章「電話帳リストを印刷する」

グループダイヤルに登録されている相手先を変更する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、【変更】を押す

(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ

(3) 【追加 / 消去】を押す

(4) 追加 / 削除する相手先を選び、OK を押す

追加したい相手を押してチェックマークをつけます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。

(5) OK を押す

◆変更内容が反映されます。

(6) 停止/終了 を押す

グループダイヤルを削除する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、【消去】を押す

(2) 削除するグループダイヤルを選び、OK を押す

【消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

(4) 停止/終了 を押す

子機の電話帳を利用する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

注意

■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信履歴は使えません。

1 機能確定 を押す

2 ✥で「ハッシンリレキ」または「チャクシンリレキ」を選び、機能確定 を押す

3 ✥で登録する番号を選び、機能確定 を押す

4 ✥で「デンワチョウトウロク」を選び、機能確定 を押す

5 名前を入力し、機能確定 を押す

名前は 11 文字まで入力できます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「文字の入力方法」－「子機」

登録したい番号が表示されます。

6 機能確定 を押す

電話番号が登録されます。

7 切 を押す

発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、切 を押す必要はありません。

子機の電話帳を親機へ転送する

1 電話帳 を押す

2 ✥で親機に転送する相手先を選び、機能確定 を押す

3 ✥で【テンソウ】を選び、機能確定 を押す

電話帳が転送されます。

4 切 を押す

親機の登録名の最大文字数は 10 文字です。子機の登録名が 11 文字の場合、11 文字目の文字は消去されます。
例） 子機の登録名：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻ
↓
親機の登録名：アイウエオカキクケコ
（「サ」は消去される）
ヨミガナは 11 文字すべて登録されます。

短縮番号は指定できません。空いている短縮番号の一番小さい番号へ登録されます。

以下の場合は、電話帳を転送できません。
- 外線使用中
- 親子内線通話中、呼び出し中
- 親機の電源オフ中
- みるだけ受信閲覧中
- 親機で音声設定中
- 子機で【オヤキ　シヨウチュウ】表示中
- 親機の電話帳が最大件数登録済みの場合
- 親機のメニュー操作中

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは下記をご覧ください。

Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」

Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

（リモートセットアップ画面例）



注意

■「リモートセットアップ」を使用してパソコンから登録 / 編集できるのは、親機の電話帳のみです。子機の電話帳には登録できません。

Memo

第 5 章

留守番機能

リモコンアクセス

留守録転送

外出先から本製品を操作する　リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

注意

■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【暗証番号】を押す

4 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、OK を押す

「＊」の左側の 3 桁に、0 ～ 9、＊、# からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

例）暗証番号「123」の場合は、

1 2 3 を押し、OK を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 3 までの操作を行う

(2) クリア を押す

(3) OK を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。
在宅モードでも操作できます。

注意

- ■ リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
  ⇒ 56 ページ「暗証番号を設定する」
- ■ ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- ■ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティ装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- ■ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

呼出回数を【無制限】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。

2 「#」、「＊」を押す

「暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
  ファクスメッセージが記憶されています。
- 「ポーポー」：
  音声メッセージが記憶されています。
- 「ポーポーポー」：
  ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

次のページの「リモコンコード」を入力します。

例）録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ユーザーズガイド 基本編 付録「リモコンアクセスカード」

5 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。
正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
設定		
951	メモリー受信を【オフ】にする（留守録転送やファクス転送の設定も解除されます） ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
954	ファクス転送先を設定する	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。
956	メモリー受信を有効にする（「メモリ保持のみ」となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になる）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く
971	ファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
972	音声メッセージが記憶されているか確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、「みるだけ受信」を【する】に設定するか、「メモリー受信」を【ファクス転送】または【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「みるだけ受信を設定する」

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 3 章「ファクスをメモリーで受信する」

外出先に転送する

留守録転送

留守録転送を設定する

[留守録転送]

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送することができます。

注意

- 留守モードのときのみ転送できます。
- 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。
⇒ 56 ページ「暗証番号を設定する」
- 通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
- NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。
- 転送先の電話が話し中のときは、10 分おきに 5 回まで再ダイヤルされます。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【留守番電話設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【留守録転送】を押す

5 【する】を押す

> 暗証番号が設定されていないときは、【暗証番号を登録してください】と表示されます。停止/終了を押していったん留守録転送設定を中止し、暗証番号を設定してください。
> ⇒ 56 ページ「暗証番号を設定する」
>
> 転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。
> 電話番号を変更する場合は、⌫を押します。⇒手順 6 へ
> 電話番号を変更しない場合は、
> OK を押します。⇒手順 7 へ

6 画面に表示されているテンキーで転送先の電話番号を入力し、OK を押す

7 停止/終了を押す

設定を終了します。

転送先で確認する

(1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

(2) メッセージを聞く
◆2 件以上あるときは連続して再生されます。
◆再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

(1) 「留守録転送を設定する」の手順 5 で【しない】を押す

(2) 停止/終了を押す
◆留守録転送が解除されます。

お好みで設定する / 電話 / ファクス / 電話帳 / 留守番機能 / コピー / フォトメディアキャプチャ / 付録

Memo

第 6 章

コピー

応用

いろいろなコピー

応用

2in1 コピー/4in1 コピー/ ポスターコピーする(レイアウト コピー)

[レイアウト コピー]

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を 9 枚の A4 記録紙に拡大コピーして、ポスターを作ったりできます。

注意

- ■「レイアウト コピー」では、記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- ■「拡大 / 縮小」、「インク節約モード」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「複数部コピーする」

※この設定は、2in1、4in1 のモノクロコピーのみ有効です。

> 部数表示を押して表示されるテンキーを押したり、[－]/[＋]を押すことでも部数の入力ができます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「複数部コピーする」

4 [◀]/[▶]を押して画面をスクロールさせ、【レイアウト コピー】を選ぶ

5 レイアウトを選ぶ

レイアウトは【オフ(1in1)/2in1(タテ長)/2in1(ヨコ長)/4in1(タテ長)/4in1(ヨコ長)/ポスター(3 x 3)】から選びます。

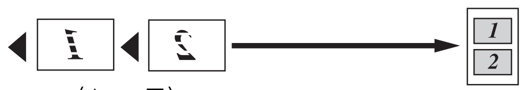
> コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

※A4 サイズの原稿を使った場合のイメージです。

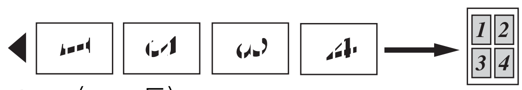
- 2in1(タテ長)



- 2in1(ヨコ長)



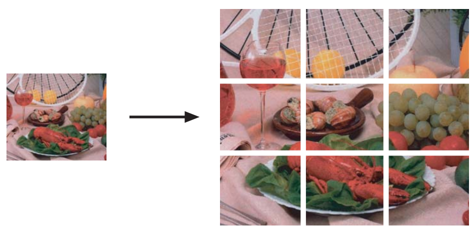
- 4in1(タテ長)



- 4in1(ヨコ長)



- ポスター(3 x 3)



> ポスターコピーは、原稿をポスターサイズに拡大し、9 枚の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーをする場合は、あらかじめ記録紙トレイに記録紙を分割される枚数以上セットしてください。

6 モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す

【オフ】または【ポスター（3 x 3）】を選んだときは、コピーが開始されます。
【2in1】または【4in1】を選んだときは、原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

7 【はい】を押す

8 次の原稿をセットし、 または を押す

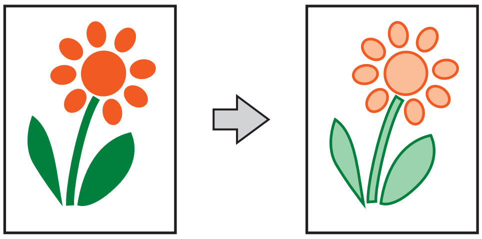
コピーするすべての原稿に対して、手順 7、8 を繰り返し行います。

9 すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してコピーを終了する

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



注意

- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- 「レイアウト コピー」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「複数部コピーする」

4 [◀]/[▶] を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【インク節約モード】を押す

6 モノクロでコピーするときは [モノクロ スタート] を、カラーでコピーするときは [スタート カラー] を押す

ブックコピーする

[ブックコピー]

本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。

注意

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「レイアウト コピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「複数部コピーする」

4 [◀] / [▶] を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を選ぶ

5 【ブックコピー】を押す

6 モノクロでコピーするときは [モノクロ スタート] を、カラーでコピーするときは [スタート カラー] を押す

コピーに文字や画像を重ねる

[透かしコピー]

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【CONFIDENTIAL】【重要】【COPY】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

メモリーカードに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

注意

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「レイアウト コピー」、「ブックコピー」と同時に設定することはできません。

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、? と表示されます。

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

テンプレートを重ねてコピーする

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「複数部コピーする」

4 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

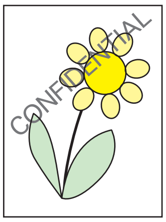
5 【透かしコピー】を押す

6 【テンプレートを使う】を押す

7 透かしの設定を行う

次の 6 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、OK を押してください。

- 【テキスト】：
  透かしの文字を【COPY／CONFIDENTIAL／重要】から選びます。
- 【位置】：
  透かしの位置を【A／B／C／D／E／F／G／H／I／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に文字を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  透かしの角度を【-90°／-45°／0°／+45°／+90°】から選びます。
- 【透過度】：
  透かしの透過度を【-2／-1／0／+1／+2】から選びます。
- 【色】：
  透かしの色を【黒／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄】から選びます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：－45°
透過度：＋2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

8 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

メディアの画像を重ねてコピーする

メモリーカードをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

注意

■ （デジカメプリント）が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードを壊す恐れがあります。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

2 （コピー）を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「複数部コピーする」

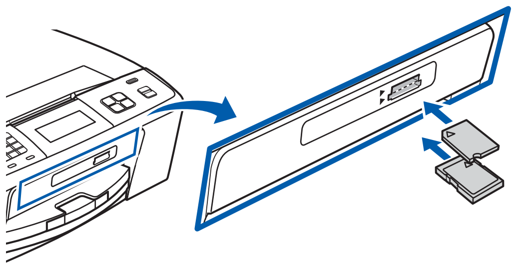
4 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【透かしコピー】を押す

6 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

7 本製品のカードスロットに、メモリーカードを差し込む

メモリーカードは、正しいカードスロットにしっかりと差し込んでください。



⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「メモリーカードをセットする」

8 （デジカメプリント）が点灯してから、【メディア】を押す

注意

■ （デジカメプリント）が点滅している間は、押さないでください。

9 画像を選ぶ

注意

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、？ と表示されます。

10 透かしの設定を行う

次の 4 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、OK を押してください。

- 【位置】：
  透かしの位置を【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に選んだ画像を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  透かしの角度を【-90°／ -45°／ 0°／ +45°／ +90°】から選びます。
- 【透過度】：
  透かしの透過度を【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

スキャンした画像を重ねてコピーする

1 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

2 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 6 章「複数部コピーする」

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

4 【透かしコピー】を押す

5 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

6 【スキャン】を押す

7 透かしに使用する原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」



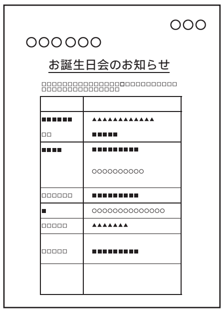
透かしに使用する原稿

8 スタート カラー を押して原稿をスキャンする

スキャンが始まります。

9 スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編 第 1 章「原稿をセットする」

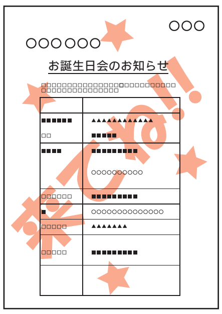


コピーする原稿

10 透かしの透過度を選び、OK を押す

【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す



仕上がりイメージ

> スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

第 7 章

フォトメディアキャプチャ

デジカメプリント

写真をプリントする

デジカメプリント

インデックスシートをプリントする

［インデックスプリント］

メモリーカードに保存されている画像を、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

注意

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

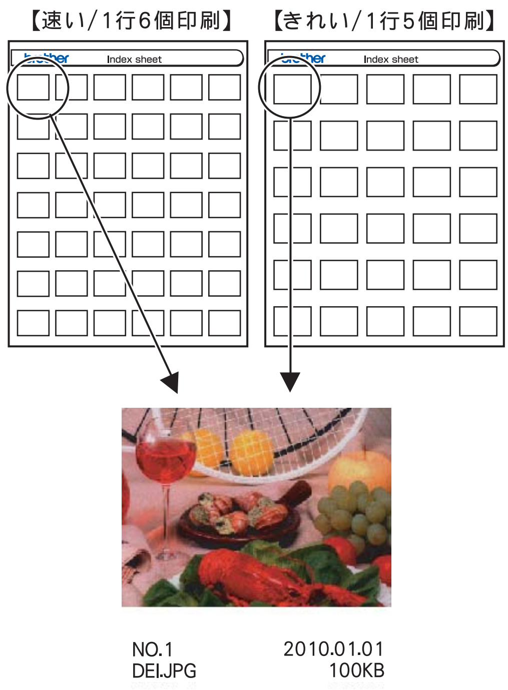
デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】を押す

3 【インデックスシート】を押す

4 インデックスのタイプを選ぶ

インデックスのタイプは、【速い /1 行 6 個印刷】【きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。



5 ［スタート カラー］を押す

記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、1、2、3 のように番号が割り振られます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントできる画像は JPEG（.JPG）ファイル形式だけです。

番号を指定して写真をプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする写真を指定できます。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】を押す

3 【番号指定プリント】を押す

4 画面に表示されているテンキーでプリントしたい写真の番号を入力し、［OK］を押す

例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき
「1-5」と入力する
例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき
「1,3,5」と入力する

> 入力できる文字は、区切り記号も含めて 12 文字までです。

5 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

6 ［−］/［＋］でプリント枚数を設定する

> プリント枚数表示の［1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

指定した番号の写真がプリントされます。

色や明るさを補正してプリントする

［こだわりプリント］

写真をプリントする際に、色や明るさを補正して美しくプリントすることができます。

> 「こだわりプリント」機能は、Reallusion Inc.の技術を使用しています。
>
> REALLUSION

人物と風景を美しくプリントする［自動色補正］

人物も風景も美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていない場合は、［◀］/［▶］を押して画面をスクロールさせます。

> ［回転］を押すたびに 90゜ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、［OK］を押す

5 ［自動色補正］を押す

補正後の写真が表示されます。

> 人物の赤目も同時に補正したいときは、［自動色補正&赤目補正］を押します。
>
> ［拡大］を押すと拡大表示されます。このとき、［▲］［▼］［◀］［▶］でスクロールすることができます。［戻る］を押すと、元に戻ります。

6 ［OK］を押す

7 ［－］/［＋］でプリント枚数を入力し、［OK］を押す

> プリント枚数表示の［1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

9 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択した写真がプリントされます。

肌を美しくプリントする [肌色あかるさ補正]

人物の肌を美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント]を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていない場合は、[◀]/[▶]を押して画面をスクロールさせます。

[回転]を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、[OK]を押す

5 [肌色あかるさ補正]を押す

補正後の写真が表示されます。

[◀]/[▶]で補正量を 3 段階に調節できます。

[拡大]を押すと拡大表示されます。このとき、[▲][▼][◀][▶]でスクロールすることができます。[戻る]を押すと、元に戻ります。

6 [OK]を押す

7 [−]/[+]でプリント枚数を入力し、[OK]を押す

プリント枚数表示の[×1]を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

9 [モノクロスタート]または[カラースタート]を押す

選択した写真がプリントされます。

風景を美しくプリントする［色あざやか補正］

風景を美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、OK を押す

5 色あざやか補正 を押す

補正後の写真が表示されます。

◀/▶で補正量を 3 段階に調節できます。

を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶でスクロールすることができます。 を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 －/＋でプリント枚数を入力し、OK を押す

プリント枚数表示の x 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

9 モノクロ スタート または スタート カラー を押す

選択した写真がプリントされます。

赤目を修正する［赤目補正］

フラッシュ撮影時の赤目を修正してプリントできます。

> 赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている写真の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
> ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「FaceFilter Studio で写真をプリントする」
>
> フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント]を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジタルカメラプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていない場合は、[◀]/[▶]を押して画面をスクロールさせます。

> [回転]を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、[OK]を押す

5 [▼]/[▲]を押して画面をスクロールさせ、[赤目補正]を押す

■補正できたとき

補正後の写真が表示され、顔が赤枠で囲まれます。



> 赤目と風景を同時に補正したいときは、[自動色補正&赤目補正]を押します。
>
> [拡大]を押すと拡大表示されます。このとき、[▲][▼][◀][▶]でスクロールすることができます。[戻る]を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき

「赤目を検出できません」と表示されます。

6 再度補正するには、【もう一度やり直す】を押す

■補正できたとき

補正後の写真が表示され、目が赤枠で囲まれます。



> [拡大]を押すと拡大表示されます。このとき、[▲][▼][◀][▶]でスクロールすることができます。[戻る]を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき

「赤目を検出できません」と表示されます。

7 [OK]を押す

お好みで設定する
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
付録

8 [－]/[＋]でプリント枚数を入力し、[OK]を押す

プリント枚数表示の[x 1]を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

9 画面で設定を確認する



プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

10 [モノクロスタート]または[カラースタート]を押す

選択した写真がプリントされます。

白黒でプリントする［モノクロ］

カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント]を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていない場合は、[◀]/[▶]を押して画面をスクロールさせます。

[回転]を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、[OK]を押す

5 [▼]/[▲]を押して画面をスクロールさせ、[モノクロ]を押す

モノクロに補正された写真が表示されます。

[拡大]を押すと拡大表示されます。このとき、[▲][▼][◀][▶]でスクロールすることができます。[戻る]を押すと、元に戻ります。

6 [OK]を押す

7 [－]/[＋]でプリント枚数を入力し、[OK]を押す

> プリント枚数表示の[×1]を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

9 [モノクロ スタート]または[スタート カラー]を押す

選択した写真がモノクロでプリントされます。

セピア色でプリントする［セピア］

写真をセピア色でプリントします。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント]を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていない場合は、[◀]/[▶]を押して画面をスクロールさせます。

> [回転]を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、[OK]を押す

5 [▼]/[▲]を押して画面をスクロールさせ、[セピア]を押す

セピア色に補正された写真が表示されます。

> [拡大]を押すと拡大表示されます。このとき、[▲][▼][◀][▶]でスクロールすることができます。[戻る]を押すと、元に戻ります。

6 [OK]を押す

7 −/+でプリント枚数を入力し、OKを押す

プリント枚数表示の x 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

9 モノクロ スタート または スタート カラー を押す

選択した写真がセピア色でプリントされます。

メモリーカード内の写真をすべてプリントする

メモリーカードの写真をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。
ただし、一度にプリント設定できるのは 100 枚までです。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

3 ［アイコン］を押す

【すべての写真枚数を 1 枚にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

100 枚目までの写真のプリント枚数がすべて 1 枚に設定されます。

> 個別にプリント枚数を増減させることもできます。この場合は手順 4 のあとで、対象の写真を選び、表示される［－］/［＋］で枚数を設定して［OK］を押します。

5 ［OK］を押す

6 画面で設定を確認する



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」
>
> ［アイコン］を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

メモリーカード内のすべての写真がプリントされます。

メモリーカード内の写真を自動で順番に表示する

［スライドショー］

メモリーカード内の写真を、画面に一定の間隔で順番に表示することができます。このとき、必要な写真を選んでプリントすることもできます。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】または【こだわりプリント】を押す

3 ［スライドショー］を押す

スライドショーが始まります。

4 終了するには［停止/終了］を押す

スライドショーが終了します。

スライドショーの途中で写真をプリントする

1 プリントしたい写真が表示されている間に［OK］を押す

こだわりプリントからスライドショーを開始した場合は、以下どちらかの設定を行う必要があります。どちらも設定する必要がないときは、［戻る］を押して印刷設定およびスライドショーを終了します。

- お好み色補正
  ⇒ 74 ページ「色や明るさを補正してプリントする」
- トリミング
  ⇒ 83 ページ「写真の一部をプリントする」

2 ［−］/［＋］でプリント枚数を入力し、［OK］を押す

プリント枚数表示の［×1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

かんたんプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 3 へ

こだわりプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 4 へ

3 ［OK］を押す

4 画面で設定を確認する



プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

かんたんプリントからスライドショーを開始した場合は、上記画面の［自動色補正］を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

5 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択した写真がプリントされます。

写真の一部をプリントする

［トリミング］

写真の中から必要な部分だけを切り出してプリントすることができます。写真を回転させることもできます。

> 写真のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メモリーカードをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 トリミングしたい写真を選ぶ

4 【トリミング】を押し、［OK］を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

5 枠の位置とサイズを選ぶ

［▲］［▼］［◀］［▶］で移動します。

［＋］で拡大、［－］で縮小します。

［縦横切替］を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

6 ［OK］を押す

7 トリミングを確認し、［OK］を押す

8 ［－］/［＋］でプリント枚数を入力し、［OK］を押す

> プリント枚数表示の［1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

9 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ユーザーズガイド 基本編 第 7 章「設定を変えて写真をプリントするには」

10 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

トリミングした写真がプリントされます。

Memo

付録

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**
受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話をとってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッタ**
ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**
ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**
Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **取りまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**
受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● **プリンタードライバー**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を 9 分割し、9 枚の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**
受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定することができます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

て

と

な

ね

は

ひ

ふ

ほ

み

め

も

よ

り

る

れ